

1. 総括

今年度も新型コロナウイルスの感染症対策を行いながら、様々な活動に取り組み、利用者さんの「はたらく・たのしく・たくましく」を支えてきた。また、利用者さんのニーズに合わせ作成した個別支援計画に基づき、利用者さんが自立した日常生活を営むことができるよう、介護・生活体験・生産活動等を行った。さらに随時相談支援員さんや他の事業所等とケース検討会議を行い利用者さんのサービス向上に努めた。

余暇活動では、新型コロナウイルスの影響で、この間規模を縮小するなどの活動になっていたが、今年度は県外へのお出かけも計画し、利用者さんがゆとりや楽しみを持てるような内容になるように努め、毎月の利用者さんの楽しみを支えてきた。

クラブ活動も現在、創作クラブ・やまくらぶ・音楽クラブ・ダンスクラブの4種類に増え、利用者さんから「今日は〇〇くらぶの日！」と嬉しそうに発信があるほど定着してきた。

健康面では、日頃から利用者の健康状態を把握し、定期健康診断のほか、毎日の健康観察を通して治療をすすめたり予防に努めた。また、気軽に参加できる散歩や歩行、室内レクリエーションや体操等を積極的に取り入れ、運動不足や肥満の解消にも努めた。

困難ケースにおいては、医療機関への同行や、関係機関で連携を取りながら他事業所への移行もサポートできた。

CCVには重度障害者の夜の生活の場の支援がないため、利用者さんの将来をご家族と一緒に考えたり、相談支援員さんとの密な連携が今後も必要とされてきている。

2. 利用者状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	13	13	13	13	13	12	12	12	12	12	12	12	149
退所者数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
稼働日数	21	21	23	21	22	21	21	21	21	20	20	23	255
延利用者数	218	213	234	221	219	206	188	200	205	187	189	227	2,507
1日平均利用者数	10.4	10.1	10.2	10.5	10.0	9.8	9.0	9.5	9.8	9.4	9.5	9.9	9.8

※主な欠席理由…体調不良、精神不安定、家事都合、他事業所と併用利用

利用者障害支援区分 (令和4年3月現在)

区分3	区分4	区分5	区分6
0人	4人	3人	5人

※平均区分 5.1

3. 担当職員（直接処遇職員 8名）

サービス管理責任者：青木

看護職員：板鼻

生活支援員：後藤、吉田、富澤、宇賀神、高波、藤野

4. 年間支援実施内容

・日課 Bチーム

9：30 受け入れ・検温

9：50 朝の会・ラジオ体操・掃除

10：15 お茶

10：30 午前の活動

軽作業・ATM 清掃・散歩・室内レクなど

12：00 昼食・はみがき

13：00 午後の活動・検温

クラブ活動（創作、やま。音楽、ダンス）・軽作業・ドライブ等

（15：00 ～毎週火曜日：コーヒータイム～）

15：15 お茶

15：30 帰りの会

16：00 送迎

※Aチームは、個別のスケジュールを組み立てパターン化しないよう毎日スケジュールを変更した。また、個別活動も個別支援計画に基づき見直しを行った。「休憩何する？BOX」の設置

・創作クラブ（第2、第4金曜）

・やまくらぶ（第2、第4木曜）

・自主製品・下請け作業（わんこ・ペン箱詰め・ATM 清掃）

・係活動（日直、お茶運び、コップ運び、ラジオ体操、挨拶係）

・レクリエーション（輪投げ、玉入れ、黒ひげ、ジエンガ、パズルなど）

・個別対応（足湯、ドライブ、自販機買い物、相談支援）

・余暇活動 4月 高根沢グリーンパーク

5月 市内ウォークラリー、やまくらぶ遠征（横根高原）

6月 大洗水族館

7月 塩原もみじ谷大吊橋・箱の森プレイパーク

8月 夏祭り

10月 宇都宮動物園

11月 防災館・宇都宮美術館、やまくらぶ（両崖山）

12月 劇団四季ミュージカル、クリスマス会

- 1月 初詣（今宮神社）
- 2月 Viewing 展
- 3月 外食体験（ココス）
- その他、毎月工賃支給日の買物を実施した。

5. 成果と課題

（1）日中活動支援

日 課

- 成果
- ・朝の会で当日の予定、帰りの会で次の日の予定を確認することで見通しが持てている。
 - ・午後の活動にクラブ活動を増やしたことで楽しみになっていて、活動も安定してきた。
 - ・役割を分担することで意識でき、給食運び等意欲を持って取り組んでいる。
 - ・Aチームのスケジュールや活動の見直しを行った。

- 課題
- ・Bチームでは、ワンパターンになりがちな活動の幅を広げたい。
 - ・下請け作業が不定期なので活動が安定しなかった。
 - ・Aチームの自立課題の目的がはっきりとしていない。
アセスメントを取り必要な自立課題を整理する。
 - ・掃除や家事活動等、生活体験を中心とした活動の組み立てができなかった。

軽作業

【わんこのおやつ製造】 年間売上 174,884 円（昨年度比 141%）

- 成果
- ・ペットフード製造についての監査があり、製造記録用紙等の改善が行えた。

- 課題
- ・わんこの注文等はまだウェルフェアにお願いしている状態。
注文や納品部分の引き継ぎを行いたい。

【ATM清掃作業】 作業工賃 120,252 円/年（昨年度比 53%）

- 成果
- ・ATM 清掃マニュアルの徹底ができた。

- 課題
- ・8月より2か所に減る。（回数が多いプロミスが無くなった）

【ゼブラ下請け作業】 作業工賃 13,600 円/年（昨年度比 52%）

- 課題
- ・ウェルフェアからの間接的な受注のため受注量が不安定。

【折り込み作業】 作業工賃 18,318 円/年（新規）

- 成果
- ・他事業所との連携で新聞折り込み作業をいただけた。
 - ・新しい折り込み作業を受けたが、納期の短さや取り組める人が限られてしまっている。

余暇支援

- 成果
- ・新型コロナウイルスの影響で場所を変更したり、時間を短縮した余暇活動がいくつかあった。
 - ・混雑が予想される時期は事前に問い合わせ、日程を変更した。
 - ・送迎時間が遅れたり、早まった際には保護者の方に連絡した。
 - ・余暇活動を楽しみにしている利用者さんもいた。
- 課題
- ・グリーンパークやクリスマス会の時、チケット購入の待ち時間やゲームの順番待ちが長くなってしまい、不安定になることがあった。
 - ・クリスマス会のゲームがみんなで行えるものが良かった。
 - ・夏祭りのゲームなどみんなで一緒に楽しめるように、利用者さん、職員の景品を準備する。
 - ・外出の余暇活動の参加が少なかった利用者がいた。

創作クラブ

- 成果
- ・始めた当初よりも色を進んで変える姿が見られたり、こういうものが書きたい！と考える様子も見られる。
 - ・ワークショップの開催
9月～11月：カラペハリエ（カレンダーづくり）
 - ・作品展への応募ができた。
きょうされんグッズコンクール ～落選～
アートパラ深川 ～落選～
栃木県障害者芸術展「Viewing 展」～入選～
(岸さん、金田さん、田中さん、吉岡さん、渡邊さん、神戸さん)
 - ・活動が認められ栃木コープから再度助成金をもらうことができた。
 - ・2次利用に関する工賃規定の改定をおこなった。
 - ・TAM 会議参加（連携・研修）
- 課題
- ・職員がどこまで創作に介入していくかの塩梅が難しい。提案はできても作品に手を加えてはいけないことを共有していきたい。

やまくらぶ（廣田さん、吉岡さん、渡邊さん、平野さん、田中さん、金田さん）

- 肥満・運動不足解消すること、また自然の中で心安らく時間を感じ取ることを目的に不定期ではあったが活動を開始した。
- 成果
- ・A チーム B チームで活動日を分けたことで、それぞれ定期的にも実施できた。(A チーム 第1、第3木曜、B チーム 第2、第4木曜)
 - ・安全にみんなで達成感を味わうことができた。
 - ・年2回行った遠征（横根山・井戸湿原/5月、両崖山/11月）では皆達成感を味わうことができた。
- 課題
- ・天候の影響や思い付きの実施で計画性がなかった。

- ・肥満対策も目的の一つとしてあるが、減量にはつながっていない。
- ・職員体制によって中止になることもあった。

(2) 生活支援

生活体験（トイレ掃除、買い物、窓拭き、裁縫、洗濯、コーヒーの日など）

成果 ・毎週火曜日のお茶の日は、自分で飲みたいものを選び、沸かしたお湯を自分でそそぐなど、生活体験になっている。お湯の沸かし方を覚え、自分で瞬間湯沸かし器に水を入れて、沸かしてくれた方もいた。

課題 ・工賃買い物では要求をうまく引き出せず同じような買い物に終わってしまった。
・電子レンジの体験活動が実行できなかった。

健康管理（体温測定、血圧測定、体重測定、口腔ケア、服薬支援、定期健康診断、インフルエンザ予防接種、感染症予防の啓発など）

成果 ・手洗いうがいも継続できていて、散歩などで体も動かし、健康を維持できている。

- ・大きな病気や怪我などもなく、欠席者も少なかった。
- ・絵カードを提示したことで、送迎車内でマスクの着用ができた。
- ・バイタルチェック表改正を行った。
- ・職員の健康診断結果に基づく医師からの意見聴取をおこなった。

課題 ・歯の健康チェックができなかった。
・感染予防対策品の保管場所の整理。

6. 職員会議、支援会議

(1) 職員会議

毎月1回開催し、管理・運営会議の決定、方針に基づき、事業所全般の業務執行に関する審議・決定を行ってきた。

4/9（土） 研修報告、移転mtg報告など

5/14（土） 虐待と感じたこと、研修動画についてなど

6/11（土） ヒヤリハット報告、研修報告など

7/9（土） ヒヤリハット報告、虐待と感じたこと、移転mtg報告など

8/11（土） ヒヤリハット報告、公募展について、縄岡セミナーなど

9/3（土） ヒヤリハットになりうる報告など

10/8（土） 研修報告、移転mtg報告など

11/23（土） ヒヤリハット、研修、ケース会議報告など

12/17（土） ヒヤリハット、研修報告、きょうされん国会請願署名学習など

1/7（土） ヒヤリハット、移転mtg報告など

(2) 支援会議

サービス等利用計画に基づいて家族の方や本人の情報を共有しながら計画の見直しを行い、支援会議にて個別支援計画の策定を行った。

毎月個人毎の報告を行い個別支援計画をもとに振り替えるよう意識した。

ケース会議を通して、相談支援員や他事業所と情報の共有を行った。

また、縄岡好晴氏による縄岡セミナーを実施した。

課題としては、個別支援計画のさらに細かく見た新個別支援計画が導入を計画したができなかった。

(3) 総括会議

1/14 (土)AM、28 (土)

【協議事項】

- ・令和4年度 事業報告及び年度のまとめ

2/11 (土)、18 (土) PM

【協議事項】

- ・令和5年度 事業計画及び年度方針

7. 職員研修

9月30日・10月1日 きょうされん全国大会n東北いわて（青木・成田）

11月 8日 ガイドヘルパースキルアップ研修①（板鼻）

11月23日 CCV 全体研修～虐待防止研修（全員）

12月 9日 苦情解決研修会（青木）

12月14日 強度行動障害支援者養成研修～基礎（吉田）

1月 日 リーンオンミー てんかんの研修（全員）

1月 日 虐待防止研修動画

1月21日 KTU 虐待防止研修（成田）

1月25日 虐待防止伝達研修（板鼻）

その他

- ・強度行動障害支援者養成研修～実践（後藤）
- ・社会福祉主事研修（吉田）
- ・TAM 会議（青木）
- ・縄岡セミナー 7月・10月・12月

8. 安全・安心

(1) 防災管理

消火、通報、避難誘導の訓練を実施した。

① 5月23日(月) 13時30分～

② 12月 2日(金) 13時30分～

- ・消火器使用期限切れのため新しく7月に5本購入した。
- ・災害時における防災マップ、関係情報一覧表の掲示をした。
- ・防災館に行って災害の疑似体験をおこなった。

(2) 危機管理

事故・ヒヤリハット

- ・利用者 2件 (転倒、)
- ・職員 1件 (感染防止の措置の仕方)

毎月事故・ヒヤリハットを職員会議で報告・共有し、その後の対応を話し合った。

※また、ヒヤリハットになりうる件も検討した。

(3) 苦情解決

受付 0件

ちょっとした苦情は言いにくいし、拾いにくい。どんな小さなことでも話しやすい関係づくり必要。課題として残る。

小さな要望を丁寧に拾える関係づくりができた。

苦情対応に関する研修に参加した。

(4) 虐待防止

毎月の虐待防止委員会への参加と職員会議で虐待と感じたことを話し合った。会議で話し合ったことで虐待を意識し、虐待防止への意識を高めることができた。(本人の意思に沿わないこと、車イスのベルトの強弱、車いすのテーブルの使用、言葉づかいなど)

家庭からの要望により安全確保のために車いすに乗っていただいている方には、身体拘束に関する説明書の了解を得た。

9. 送迎の実施

- ・1年間事故なく安全に送迎を行うことができた。
- ・坂下コース、坂上コース、南コースの3コース運行
引き続き送迎時には窓を開け換気をしながら走行し、各車両に空間除菌剤を設置した。
車両は使用する度にアルコール消毒を行った。
- ・車両の定期的な拭き上げ、洗車を行ったことできれいな状態を保てた。

10. 地域・関係機関との連携

(1) 広報・宣伝

広報紙の発行、HPの更新管理

- ・毎月発行のダック通信により日中一時と生活介護の様子を伝えることができた。
- ・法人の会報誌CCVだよりは広報委員会を設置したことで定期的な発行が増えた。
- ・HPの更新は手を付けにくい。も課題として挙げられる。

(2) 家族支援

- ・個々の家族との面談の機会をもった。
- ・連絡帳のやり取りや送迎時など家族とのコミュニケーションを持ち、家族からの要望に応じてきた。
- ・家族からの急な送迎の変更などに対して柔軟な対応を行った。
- ・会費の取りまとめや文書の配布等家族会に協力した。
- ・コロナ禍家族会と職員との交流が行えなかった。

(3) 特別支援学校、学級実習生の受け入れ

今年度の2名の実習生の受入を行った。その中1名利用につながった。

(4) ボランティアの受け入れ

コロナ感染防止対策として外部の方との接触は極力控えたため、余暇活動など職員だけで体制を組み、ボランティアへの依頼はしなかった。

(5) 関係機関

関係者会議（ケース検討会議）を定期開催することで課題と目標の共有ができた。相談支援事業所やグループホームなど本人を取り巻く環境で関わっている担当者や利用者との基本情報の聞き取り、状態把握、サービス等利用計画について確認を行った。

特別支援学校の進路指導の先生方とつながることができたことで実習の問い合わせが増えた。

11. その他

日本財団の「みらいの福祉施設建築プロジェクト 2021」に応募し最終審査で選ばれず助成を受けることができなかったが、その後もCCVダックの移転についてはダック移転 mtg を引き続き開催し検討してきた。

1. 総括

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響が続く1年であった。

その影響で1年間お昼から長時間利用をする方もいた。しかし、利用する時間が増えたことで散歩や畑作業で体を動かす機会等様々な活動をたくさん取り組むことができた。またボール投げや塗り絵、壁面づくり、掃除、お茶やおやつを配る役割、靴を履かせてくれる役割、椅子の背もたれに座布団をはさむ役割など利用者さん同士、助け合いながら楽しく過ごせた一年だと感じた。

ペン作業やわんこのおやつ型抜き作業など生活介護の作業を積極的に手伝う姿も見られた。

また、生活介護の余暇活動と一緒に参加したり、様々な場面で楽しみが共有できた1年となった。「楽しかった」という声をたくさん聞くことができた。

生活介護の職員の応援を受けながらの厳しい職員体制であった。早急に改善が求められる。

2. 年間利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	10	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	8	108
退所者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
稼働日数	21	21	22	20	20	20	20	20	20	20	19	22	245
延利用者数	117	143	163	150	152	148	138	131	148	137	119	140	1686
1日平均利用者数	5.6	6.8	7.4	7.5	7.6	7.4	6.9	6.6	7.4	6.9	6.3	6.4	6.9

※主な欠席理由…家庭の都合

3. 担当職員

山本・池田

4. 年間支援実施内容

障利用者のニーズに合わせた作業を行うとともに余暇を充実させるための活動と支援を行った。

具体的な支援内容は、送迎・おやつ・散歩・DVD鑑賞・野菜作り・ゲーム・学習などくつろいだ時間を過ごすことができた。

開所時間 平 日 12:00~17:50

5. 成果と課題

成果

- 仕事の不安や困りごとなど傾聴を行った。
- 定期的にフロア内の掃除など快適な生活環境を提供した。
- おやつ作りや準備の手伝い等楽しみの中で経験をつむ活動をした。
- 発語が困難な利用者には表情で汲み取る事が出来るように努力した。

課題

- 利用者を増やす日中一時支援のPR。
- 職員間の連絡や報告、相談の徹底など職員の職務・職責意識の高揚。
- 職員の専門性を高めるとともに、人権教育の充実、徹底。

6. 職員研修、職員会議、健康管理、衛生管理等実施内容

職員研修

動画研修も含め多様な研修に参加できた。コロナ禍防護服を実際に着脱する研修はとてもいい経験だった。

その他大妻女子大学 人間関係学部 助教 縄岡好晴氏による研修

株式会社 Lean on Me によるeラーニング

より良い支援の情報を得ることができ、職員のスキルアップにつながった。

職員会議

生活介護と合同で毎月1回開催した。また、その会議報告書を参加しなかった職員にも供覧した。

日誌を供覧し日々の状況を共有した。

利用者が困っている時など気づいた時にはその都度話をして情報を共有した。

健康管理

手洗い、うがいの慣行、消毒、体温チェック、こまめな水分補給など。

万歩計アプリを使って散歩を行うことで目標をもって取り組めた。また気分転換にもなり、コロナウィルスの影響で日々のリズムが崩れた利用者さんのストレス解消にもなった。

7. その他（建物等修理・修繕の実施、設備・備品等の整備内容等）

今年度も継続して多目的室の壁面を毎月季節感のある構図で飾ってきた。